

平成29年度学校評価報告書

平成30年3月19日

北海道教育委員会教育長 様

北海道美深高等養護学校長
(あいべつ校)
山下 秀 樹

次のとおり平成29年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- ① 生徒一人ひとりの教育的ニーズに基づき、キャリア発達を促すための系統的・重層的な指導を推進し、個々の進路を実現する地域に根ざした教育課程の編成・充実を図る。
- ② 社会への移行期にある生徒に対して、人権を意識した丁寧な生徒指導の充実を図る。
- ③ 研究や研修等を充実させ、教職員の資質や専門性を高め、質の高い授業の構築を展開する。
- ④ 上川管内の特別支援学校間や関係機関との役割分担と円滑な機能連携を進める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教職員	- 経営方針、生徒指導(信頼関係の下での指導)、安全指導(環境衛生)、情報発信、連携、保護者対応、事務手続きについては96%の肯定的回答を得た。保護者や地域に信頼される学校を目指して、教職員一人一人が生徒・保護者・地域に対して真摯に向き合い、チームあいべつ校として取り組んできた結果と捉える。 - 教育課程(個に応じた授業)、生徒指導(適切な指導)、進路指導について、否定的回答が10%を上回り、改善に向けた抜本的な取り組みが急務と考える。	- キャリア発達を促す指導が十分に効果を発揮し、進路内定率が100%となったことは大変素晴らしい。今後も、卒業後の支援を充実させ、定着率の向上を図り、社会へ有益な人材を輩出していくことに期待している。(学校評議員) - 昨年度同様、学校評価の反省を十分に生かし、さらに充実した学校経営をなすように実践されていることが分かった。生徒たちの自己実現に向けて、今後もさらに取組を継続して取り組むことに期待している。(学校評議員)
改善方策	- 学校教育目標や教育方針等の達成を目指し、目標設定から評価に至るPDCAサイクルにより顕在化した課題解決に向け取り組むとともに、新学習指導要領を見据えた教育課程の編成を行う。 - 教員個々の専門性向上に資する校内実践研究に継続して取り組み、校外における研修会等にも計画的かつ積極的に参加し、生徒に対する指導についての充実を図る。	
保護者	- 保護者に対して、懇談会等での丁寧な説明に努め、常に連絡体制を強化することで、教育課程、生徒指導、連携、保護者対応について肯定的な回答を得た。また、安全指導をさらに強化し、安全で安心な学校生活を送るための整備ができていると評価された。 - 進路指導に係る情報提供は、昨年度に引き続いて否定的回答が多く、より一層の改善に向けた取り組みが急務である。	保護者への進路指導に関する情報提供については、より具体的でタイムリーな話題を、常に発信し続ける体制づくりを強化してほしい。また、卒業後の具体的な生活についての見通しが持てるような情報を、さらに提供できる体制づくりに期待する。(学校評議員)
改善方策	保護者に対して、進路先決定までの具体的な流れや、卒業後の生活に関して、より具体的で分かりやすい情報を、できるだけタイムリーに発信する体制を構築する。	
生徒	- 社会で貢献する人として成長するために、必要不可欠な指導されていることを、生徒が十分に理解しているものと考ええる。 - 信頼関係、進路指導、自己有用感に関する評価が低い傾向にある。いずれも、対人関係の希薄さや自己理解及び他者理解に関する課題を抱えているためだと捉える。	生徒たちには、数多くの選択肢を提供し、生徒自らが自己選択する機会を数多く持たせることで、自己有用感や将来に対する希望を感じさせることができる。そのような教育活動を今後とも継続して行われることを期待する。(学校評議員)
改善方策	- 生徒自身が、将来の生活をより具体的に見通せるような指導の充実を図る。 - 生徒会活動、部活動等、より生徒が主体的に取り組める活動や共同作業を設定し、良好な人間関係づくりに取り組む。	
公表方法	- ホームページへの掲載 - 保護者懇談会での説明	

3 添付資料

教職員アンケート、保護者アンケート、生徒アンケート